



湾岸・アラビア半島地域ニュース

イラク：トルコ国会によるイラク越境攻撃承認に対する反応 (10月18日付現地報道)

(注：トルコ国会は10月17日、イラクへの越境攻撃を行うためのトルコ政府決定を賛成507、反対19で承認した。)

1. イラク政府首脳の見解(政府系「サバーハ」紙)

- (1) フランス訪問中のタラバーニ大統領は、サルコジ大統領と会談した後の記者会見で、「トルコが軍事的解決という選択肢をとらないことを望む」と述べ、イラク政府はトルコとの間で解決策を見出すべく対話と協力を続けるとの考えを示した。
- (2) マーリキー首相は、エルドアン首相との電話会談等において、イラク政府はイラク領域内でのPKKの一切の活動を禁止することを明確にした。
- (3) ハーシミー副大統領はトルコを訪問し、同国首脳に対し、イラク国内のPKK問題解決のためにはイラク政府に時間的猶予が与えられる必要がある旨主張した。

2. ジバーリ外相

(ロイター通信とのインタビューで)「イラク政府は、PKKの活動は勿論のこと、あらゆるテロ組織によるイラク領域内での活動を強く拒絶する。全てのテロ組織・武装組織はイラクから出て行くべきである」と語り、イラクを舞台としたテロ活動を根絶するとの意向を示した。又、この問題を対話により解決することをトルコ政府に引き続き求めていくと述べると共に、両国政府間で協議が続けられていることを明らかにした。

3. サーレハ副首相

英国訪問中のサーレハ副大統領は、記者会見において「トルコに対するあらゆるテロ活動を取り締まっていく。米国及び英国もこうしたイラク政府の努力を支持している」と述べ、トルコの軍事行動を何としても回避したい考えを示した。

4. 北イラクのクルド地域での抗議デモ

クルド地域各地で住民による抗議デモが行われ、エルビルでは、数千人の学生や労働者が国連エルビル事務所周辺に集結し、今回のトルコ国会による越境攻撃承認を非難し、国際社会の理解と支援を訴えた。又、ドホークにおいても5千人にのぼるデモが行われた。